

2025年最新版

外国人起業家必見！ 日本での創業融資成功ガイド

Essential Funding Guide for Foreign Entrepreneurs in Japan

ビザ ● 資金調達 ● 注意点



在留資格



融資制度



事業計画



成功戦略

外国人でも融資は受けられる！基本条件をチェック

適切な在留資格と準備があれば、外国人でも日本人と同様に融資を受けることができます。

在留資格	特徴	融資の適合度
 経営・管理	事業経営に最適。融資審査で最も評価される資格。	★★★★★
 永住者	活動制限なし。長期事業計画に適している。	★★★★★
 日本人の配偶者等	活動制限なし。日本での生活基盤があると評価される。	★★★★★
 定住者	活動制限なし。安定した在留資格として評価される。	★★★★★
 技術・人文知識	特定の業務に限定。事業開始には資格変更が必要な場合も。	★★★★★
 特定活動	内容によって異なる。活動内容の制限に注意。	★★★★★

！ 在留期間と融資の密接な関係

重要ポイント： 融資の返済期間は原則として在留期間内に収まる必要があります。在留期間が短い場合は、更新してから融資申請をすることでスムーズに審査が通りやすくなります。

外国人起業家向け主要融資制度比較

融資制度	融資限度額	特徴	おすすめ度
 日本政策金融公庫 新創業融資制度	3,000万円	- 無担保・無保証人で融資可能 - 低金利（年1.2%～3.0%） - 創業2年以内の法人対象	★★★★★
 東京都 外国人起業家支援	1,500万円	- 創業5年未満の外国人対象 - 返済期間10年以内 - インキュベーション施設も利用可	★★★★★
 民間金融機関 創業支援融資	500～5,000万円	- 金融機関により条件差が大きい - 銀行との関係性が重要 - 審査基準が厳格な場合が多い	★★★★★★
 地方自治体 各自治体独自制度	300～2,000万円	- 地域活性化に貢献する事業が優遇 - 地方都市では外国人起業家を積極誘致 - サポート体制が充実している場合も	★★★★★

※金額・条件は2025年5月現在のもので、詳細は各機関にお問い合わせください。

💡 おすすめ制度

日本政策金融公庫の新創業融資制度：外国人起業家の強い味方！

- ✓ **最大のメリット**：「無担保・無保証人」で最大3,000万円まで融資可能。
- ✓ **対象**：創業予定者または創業後2年以内の事業者。
- ✓ **成功のコツ**：事前に日本語での事業計画書を緻密に作成し、市場分析と収益予測を明確に。

融資審査で重視されるポイント

融資審査は「誰にお金を貸すか」という人間的な判断が大きな部分を占めています。審査担当者に信頼してもらえる準備が重要です。



事業計画書



説得力のあるストーリーと現実的な数字を兼ね備えた事業計画書が最重要です。

- ✓ **独自性**：なぜあなたなのか
- ✓ **市場性**：なぜ今なのか
- ✓ **収益性**：どうやって利益を出すのか



自己資金



あなたの覚悟の証明となる自己資金の準備が重要です。

- ✓ **最低額**：100万円程度が目安
- ✓ **自己資金比率**：総資金の10～30%が理想的
- ✓ **資金の流れ**：出所を明確に証明できること



日本語能力



基本的なコミュニケーションができるレベルであると審査が有利になります。

- ✓ **面談対応**：自分の言葉で想いを伝えられる
- ✓ **書類理解**：契約内容を理解できる
- ✓ **通訳の活用**：必要に応じて信頼できる通訳を手配



日本での実績



日本での居住歴や職歴は信頼構築の重要な要素です。

- ✓ **居住歴**：3年以上が理想的
- ✓ **職歴**：日本企業での勤務経験
- ✓ **代替策**：日本人パートナーやアドバイザーの存在

成功事例

アメリカ人IT起業家の例：日本の大手IT企業で5年働いた実績と、詳細な市場分析を含む事業計画書が評価され、創業時に2,000万円の融資獲得。「日本で築いた信頼関係が融資の信頼につながった」と語る。

融資を成功させるための実践アドバイス

外国人起業家が日本での融資申請を成功させるための実践的なポイントを押さえましょう。

重要



在留期間を確認・更新

融資の返済期間は原則として在留期間内に収める必要があります。在留期間が短い場合は、先に更新してから融資申請するとスムーズに進みます。



担保・保証人の検討

担保や保証人は必須ではありませんが、あると審査が有利になります。信頼できる日本人パートナーや知人に相談してみるのも一案です。



専門家への相談

行政書士や中小企業診断士などの専門家に相談することで成功率が大きく上がります。特に事業計画書の作成や資金計画の策定は専門家の目線が重要です。

重要



書類は完璧に準備

提出書類の不備は信頼性の低下につながります。在留カード、パスポート、住民票、確定申告書など、すべての書類を整えておきましょう。



現地ネットワーク構築

地域の商工会議所や起業家コミュニティへの参加は、信頼獲得につながります。地域に根付いた事業として評価されやすくなります。



銀行口座履歴整備

安定した資金管理の実績をアピールするため、日本の銀行口座の取引履歴を整えておきましょう。自己資金の出所も明確にしておくことが重要です。

融資面談の心構え

融資担当者は「あなたの熱意」と「計画の実現性」を見ています。面談では次のバランスが重要です：

「あなたの事業に対する情熱」と「冷静な数字の分析」のバランスが審査担当者の心を動かします

質問には誠実に答え、不明点は「調べて連絡します」と伝えるのがベターです。過度な自信より、誠実さが評価されます。

融資以外の資金調達方法



出資

- ✓ **特徴：**株式・持分を提供し、返済不要の資金調達
- + **メリット：**急成長に必要な大型資金調達が可能
- **デメリット：**経営権の一部を手放す
- 💡 **ポイント：**日本市場に精通した投資家を選ぶ



クラウドファンディング

- ✓ **特徴：**多数の支援者から少額ずつ資金を集める
- + **メリット：**市場検証・顧客獲得も同時に実現
- **デメリット：**魅力的な発信力が必要
- 💡 **ポイント：**Makuake、CAMPFIREなどの日本のプラットフォームを活用



補助金・助成金

- ✓ **特徴：**返済不要の公的支援金
- + **メリット：**株式や持分を譲渡する必要なし
- **デメリット：**申請手続きの複雑さ
- 💡 **ポイント：**地方自治体の外国人起業家向け特別枠を探す



自己資金

- ✓ **特徴：**自分自身や家族からの資金
- + **メリット：**経営の自由度を維持できる
- **デメリット：**調達額に限りがある
- 💡 **ポイント：**最低でも100万円程度は準備すると融資も受けやすい

🏆 資金調達はミックス戦略が効果的

最も成功している外国人起業家は複数の資金調達方法を組み合わせています。例えば「自己資金 + 融資 + 補助金」や「クラウドファンディング + VC出資」など、ビジネスモデルに合わせた最適な組み合わせを検討しましょう。

S シンガポール人テック起業家の例

AI技術を活用したフィンテックスタートアップを創業。成長スピードを重視し、日本のベンチャーキャピタルから8,000万円の出資を獲得。3年後に大手IT企業に買収される成功を収めた。

H 香港出身者のクラウドファンディング例

日本の家庭料理を手軽に作れるミールキットを開発。Makuakeで目標の300万円を大きく上回る500万円を調達。資金だけでなく初期顧客の獲得にも成功し、その後の店舗展開につながった。

D ドイツ人環境技術者の例

京都府の「外国人起業家支援プログラム」を活用して200万円の助成金を獲得。これが呼び水となり、その後の融資も順調に進み、持続可能な農業技術のビジネスを成功させた。

まとめ：外国人起業家が融資を成功させるための5つのステップ

これまでの内容を踏まえ、外国人起業家が日本での融資を成功させるための具体的なステップをまとめました。

1



基本条件を整える

適切な在留資格の取得・更新、自己資金（最低100万円程度）の準備、日本の銀行口座開設などの基本条件を整えましょう。

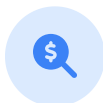
2



事業計画書を丁寧に作成

具体的な数字とストーリー性のバランスが取れた事業計画書を作成。市場分析、競合分析、収支計画を明確に示しましょう。

3



複数の融資制度を比較検討

日本政策金融公庫、地方自治体の制度、民間銀行など、複数の融資制度を比較し、自分のビジネスに最適な制度を選びましょう。

4



専門家の力を借りる

行政書士や中小企業診断士などの専門家に相談。特に言語面や書類作成で不安がある場合は積極的に支援を求めましょう。

5



融資だけに頼らない

出資、クラウドファンディング、補助金など複数の資金調達方法を組み合わせるミックス戦略を検討しましょう。

👤 一步踏み出すための具体的アドバイス

まだ漠然とした不安を抱えているなら、まずは以下の行動から始めてみましょう：



無料相談窓口を活用：

日本政策金融公庫や各自治体の創業支援窓口では無料相談を実施しています。



起業家コミュニティに参加：

外国人起業家のコミュニティに参加し、経験者から直接アドバイスを得ましょう。

「外国人だから」と諦めず、準備と情熱があれば道は必ず開けます！

よくある質問と参考リンク

Q 外国人でも日本で融資を受けられますか？

A: はい、受けられます。適切な在留資格（経営・管理ビザなど）を持っていれば、日本人と同様に融資を申請できます。ただし、在留期間と返済期間の関係には注意が必要です。

Q 融資を受けるためにはどのような条件がありますか？

A: 主な条件は、適切な在留資格、説得力のある事業計画書、自己資金の準備（最低でも100万円程度が目安）、そして基本的なコミュニケーション能力です。特に事業計画書は融資審査の核となる部分です。

Q 担保や保証人は必ず必要ですか？

A: 必ずしも必要ではありませんが、あると審査が有利になります。特に日本政策金融公庫の新創業融資制度は、無担保・無保証人でも融資が受けられる魅力的な制度です。担保や保証人がない場合は、より説得力のある事業計画書を準備しましょう。

Q 専門家に相談するメリットは何ですか？

A: 融資申請のプロセスや必要書類を熟知しているため、スムーズな申請が可能です。また、審査官の視点から事業計画書をチェックできるため、通過率が高まります。言語や文化の壁がある外国人起業家にとって、専門家のサポートは特に心強い味方となります。

🔗 参考リンク



日本政策金融公庫 新創業融資制度

無担保・無保証人で最大3,000万円まで融資可能な制度の詳細



東京都の外国人起業家向け支援事業

東京都が提供する外国人起業家向けの支援プログラム



中小企業庁「ミラサポplus」

補助金・助成金情報を検索できるポータルサイト



外国人起業家のための資金調達ガイド

詳細な情報と最新の制度変更を確認できる総合ガイド

❤️ あなたの挑戦を心から応援しています！ ❤️